

墨田区オリンピック・パラリンピック地域協議会  
会議録

会議名 第8回 未来枠会議
日時 平成31年1月8日(火) 19時00分～20時00分
会場 区役所122会議室
出席者(敬称略) ・千葉大学 原 ・千葉大学 間村 ・すみだ青年協力会 須藤 ・すみだ青年協力会 佐藤 ・個人枠 一色 ・個人枠 橋本
計6名
会議の概要 【会員の意見】 :部会員 :区・事務局 1 前回の議事について 資料1について確認した。 2 「キックオフイベント」及び「2020すみだイベントリレーVol.1」の実施結果について 資料2に基づき、それぞれ報告を行った。 3 今後の運営方法について 資料3について説明を行った。 未来枠会議は1カ月に1度程度の開催だったので、キックオフイベントを実施するにあたっては意思決定に苦慮し、詳細を詰めることができなかつた。今後、こうした事がないようプロジェクトチームを結成し、プロジェクトチーム内で小まめに打ち合わせを行い、よりスムーズに意思決定を行えるとよいのでは。(千葉大) イベントごとにプロジェクトチームを結成し、その事業に関する一定の決定権をプロジェクトチームに与えることで、事業運営がしやすくなると思う。プロジェクトチームは複数存在してもよいし、希望する方はいつでも参加できるようオープンな状態で運営するべき。未来枠会議の開催は、全体的な報告のみにしてはどうか。(すみだ青年協力会) 未来枠会議が月に1度の開催では参加できないことが多かつた。他の事業でイベントを実施する際は、週1回程度打ち合わせを行った経験がある。これから様々なイベントを円滑に行っていくには、打ち合わせの機会を増やす必要があると思う。(橋本) 未来枠全体での会議は3～4か月に1度程度とし、プロジェクトチームの打ち合わせは密接に意見交換ができるようLINE等も活用できればよいと思う。(千葉大) 未来枠会議については、中期的な開催予定を示すことや参加者の過半数の合意を得ることによって全体の意思決定とする等、内規を設定してはどうか。(すみだ青年協力会) より多くの意欲ある方に参加いただくため、今後、新たにメンバーを募集する場合は墨田区在住・在勤・在学等の条件を無くし、広く公募できればと思うがどうか。(幹事) 良いと思うが、募集方法(HP、SNS等)については検討する必要がある。(千葉大) 現在は、区の公式HPで常時、募集情報を掲載していない。プロジェクトチームごとの募

集を行ってもよいかもしれない。(事務局)

資料3の意見については概ね了承をいただいたが、今回の意見を参考に事務局で再度整理し、改めてメンバーへ確認することとなった。

4 「2020すみだイベントリレーVol.2」の開催について

資料4について、提案者から説明があった。

ワークショップで生まれたアイデアの中から、最優秀賞を選定し、選定されたアイデアを実現する方向で検討するというのはどうか。参加する方のモチベーションになり、他の参加者もその場で生まれたアイデアが実現化されると、スタッフとして関わりたいと思う方もいると思う。(すみだ青年協力会)

1月26日にワークショップを開催した場合、いつ頃の実現できると考えているか。

また、予算によっては実現できない場合もある。(幹事)

選定する段階で実現可能かの判断も必要となる。必ず最優秀賞を選定しなければならないのではなく、現実的に可能なアイデアを選定すればよいと思う。今年度中の実施は難しいと思うが、準備期間は概ね3～4ヵ月必要ではないか。(すみだ青年協力会)

具体的なテーマは定めず、大きな枠のテーマの中で様々なアイデアが生まれるようなワークショップにしたい。(千葉大)

チラシはどこに配るのか。参加資格が高校生以上であるのなら、区内の高校等に配ってはどうか。幅広い年代の方に参加してもらえるとよいが、1月26日に実施するには告知期間が短いでは。(幹事)

Vol.1 の開催からあまり期間を空けたくないという思いでいたが、告知期間を考えれば、開催時期を遅らせた方がよいと思う。(すみだ青年協力会)

多くの方に参加してもらえるのであれば、開催時期を遅らせてよいと思う。(千葉大)

3月12日(火)は東京2020オリンピックまでの500日前となるため、その付近でVol.2を開催すると注目を集めやすいかもしれない。(事務局)

3月中旬を目途に、再度、提案者・事務局を中心に内容を検討することとなった。

5 次回の開催について

今後の運営方法を決定したのち、適宜開催する。